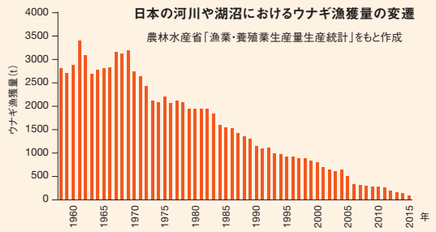
ウナギはどんな生きもの？

ニホンウナギ（*Anguilla japonica*）は、マリアナ諸島近くの海で産卵し、日本や東アジアの川や沿岸で成長する生きもの（専門用語で降河回遊魚）です。環境省レッドリスト2017では絶滅危惧IB類（EN）、国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストでも絶滅危惧IB類（EN）に区分されています。

ウナギの減少には、過剰な漁獲、河川や沿岸域等の環境変化等、複数の要因が関わっていると考えられています。

ウナギの生息のためには、川や河口、沿岸域の自然の連続性が確保されることが重要です。また、日本人の食文化に欠かせないウナギですが、日本の河川・湖沼における漁獲量は、毎年減り続けています。

自然しらべ2017では、そんな環境がどれだけ残されているか、川と干潟をしらべます。



日本人の食文化に欠かせないウナギ。
日本の河川・湖沼における漁獲量は、毎年減り続けています。

ニホンウナギの回遊

謎の多いニホンウナギ

毎年4月～8月頃に産卵して、6か月程度の時間をかけて、東アジア沿岸域にやってきます。数年～数十年かけて40～50cm以上に成長し産卵場所に向かうという一生を送っています。

「写真」と「しらべた結果」の送り方

楽しく川や干潟の環境を調べたら、下記の方法で「写真」と「調査票に記載した情報」を送ってください。

スマホでしらべて送る方
（Android 端末）

Google Play サイトからアプリをダウンロードして送ることができます。（無料）
自然しらべ特設サイト内に利用方法を掲載しています。
http://www.nacsj.or.jp/project/ss2017/

NACS-Jサイトへ

スマホでしらべて送る方
（iphoneなど）

メールで情報を送信してください。 nacsj@bio.ikimonosirabe.info
※メール本文にお名前、調査場所、一緒に調べた人数等をお書きください。

カメラとパソコンを使って情報を送る方

自然しらべ特設サイト内の投稿フォームから送ってください。
http://www.nacsj.or.jp/project/ss2017/

メール用

郵送で送る方
（送料はご負担ください）

〒104-0033東京都中央区新川1-16-10ミトヨビル2F
日本自然保護協会　自然しらべ係

詳しくは、自然しらべ特設サイトをご覧ください。

日本自然保護協会
自然のちからで、明日をひらく。

【写真と記録についてのお願い】
お送りいただいた写真と記録は、貴重な資料として日本自然保護協会で大切に保管します。また個人情報を除き、自然しらべに関する広報や自然保護の発展のために事前のお断りなく公表し活用させていただく場合があります。ご了承のうえお送りください。
【個人情報の利用目的】
お預かりする個人情報は、自然しらべの企画運営と、当会からの自然保護の情報提供にのみ利用します。ご本人の承諾なしに、第三者に提供することはありません。

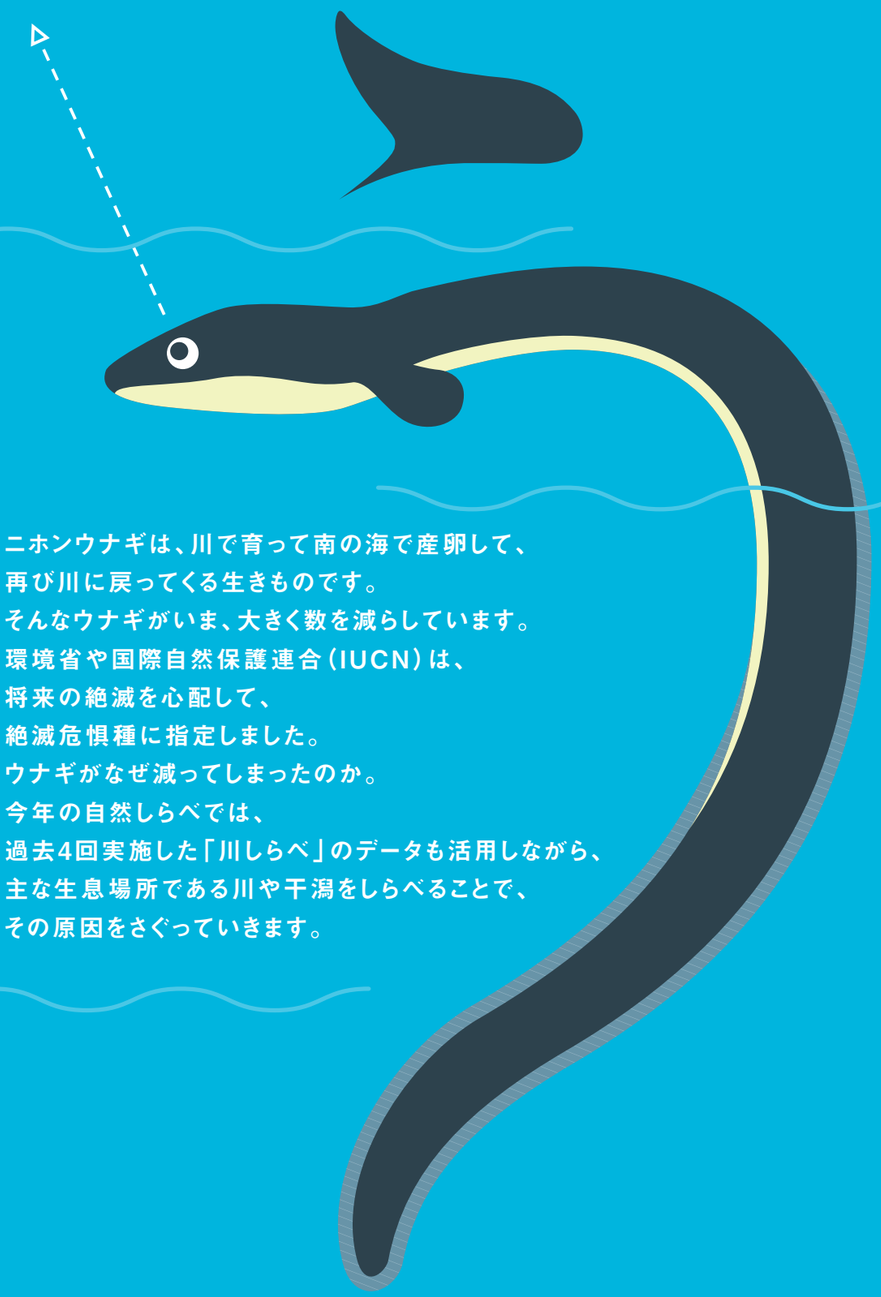
●主催: 公益財団法人日本自然保護協会 ●共催: 読売新聞東京本社 ●協賛: サニクリーン、カロラータ ●誌面協賛: 『日経サイエンス』日経サイエンス社、「一個人」KKベストセラーズ、『散歩の達人』『旅の手帖』交通新聞社 ●協力: 学研、モンベル、ニコン、富士通、パタゴニア、Google Earth Outreach、E-ne!～good for you～（FMヨコハマ）、タッキー地球レポート（タッキー816みのおFM）、公益社団法人ガールスカウト日本連盟 ●助成: 東京ガス環境おうえん基金 ●学術協力: 海部健三（中央大学准教授） ●川のイラスト: トミタ・イチロー ●デザイン: 君島 晃　　順不同

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F　TEL.03-3553-4102　FAX.03-3553-0139　　Mail shirabe2017@nacsj.or.jp

会報『自然保護』No.557号（2017年5月1日発行）付録

自然しらべ2017

うなぎ目線で川・海しらべ！



ニホンウナギは、川で育って南の海で産卵して、
再び川に戻ってくる生きものです。
そんなウナギがいま、大きく数を減らしています。
環境省や国際自然保護連合（IUCN）は、
将来の絶滅を心配して、
絶滅危惧種に指定しました。
ウナギがなぜ減ってしまったのか。
今年の自然しらべでは、
過去4回実施した「川しらべ」のデータも活用しながら、
主な生息場所である川や干潟をしらべることで、
その原因をさぐっていきます。

実施期間
2017年 5月1日 ～ 9月30日

主催　公益財団法人日本自然保護協会　　共催　読売新聞東京本社
協賛　Sanikleen　COLORATA
誌面協賛　日経サイエンス　一個人　旅の手帖　散歩の達人
協力　mont·bell　Nikon　Gakken　FUJITSU　patagonia　Google Earth Outreach　girl scouts
E-ne!～good for you～（FMヨコハマ）　タッキー地球レポート（タッキー816みのおFM）　NEC presents THE FLINTSTONE（bayfm）

「自然しらべ2017」は、東京ガス環境おうえん基金の助成を受けて実施しています。

参加者の皆さんに抽選で図鑑やグッズをプレゼント！

ウナギが戻れる環境を残したい。
そんな気持ちで、川と干潟をしらべてみよう。

まずは、川を見に行こう

なぜ川なの？

それは、川に堰がたくさんあると ウナギが遡上できないから。

スウェーデンで2010年に行われた研究では、1つの障害物に対してどれくらいウナギが越えられたかを調べました。結果は1つの堰などの障害物があると遡上成功率は30%でした。そのため河川に堰が3〜5か所もあると、ウナギが遡上できる確率はとっても低くなります。また国内の研究では、堰が40センチ程度より高くなるとウナギの遡上が難しくなることも分かっています。堰などの障害物があることで遡上や生育に大きな影響を与えています。

川でのしらべ方

①川岸を歩いて堰を探す。
②堰を見つけたら「写真」を撮る。
③堰のまわりで質問事項に回答する。

魚道の例

河口の干潟も見てみよう

なぜ干潟なの？

それは、海からやってくるウナギに 大切な場所だから。

ニホンウナギは南の海で産まれて、シラスウナギとなって黒潮に乗って日本の川にやってきます。成長してウナギとなって、産卵のために南の海に戻るまでの間、川を遡上して生育するもののほかに、遡上せずに河口や内湾に留まったり、海と川を何度も行き来するものがいることが研究から分かってきました。そのため、河口や内湾の干潟などの環境も大変重要です。

河口の干潟でのしらべ方

①干潟の「写真」を撮る。
②干潟の生きものにも注目。「写真」を撮る。
③干潟の質問事項に回答する。

【注意しましょう!】

堰のまわりは人工物で固められていることも多く、立ち入ると大変危険です。川に落ちないように、安全な場所から堰を眺め、しらべましょう。

- お子さんは一人で出かけずに、大人といっしょに出かけましょう!
- 熱中症や安全のため、帽子・長そで・長ズボンで出かけましょう。十分な飲み水を準備し、観察中は適度に休憩をいれ、紫外線や防虫対策等も忘れずに行いましょう。
- 暴風、高波、津波、急な増水などの注意報や警報に気をつけ、危険を回避できるように事前に避難場所を調べておくなどしましょう。

〈キリトリ線〉

調　査　票

は、写真も送ってください。

調査場所1か所につき調査票1枚でお願いします。　　しらべた日　2017年　／

しらべた方の年齢（複数回答可）　10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80歳以上　　しらべた方の人数　男性　名　女性　名

調査した川・河口

川　　川の支流

都道府県　　区市町村

記入者のお名前とご連絡先
（個人情報は連絡用だけに使用し、外部への公表はいたしません。）
名前の公開（可・否）
写真の公開（可・否）

お名前

ご住所　〒

TEL　　e-mail

川の堰の高さはどのぐらいですか？

□大人の膝より低い（40cm以下）　□膝から腰くらい（40-100cm）　□腰から身長くらい（100-200cm）　□身長より高い（200cm以上）

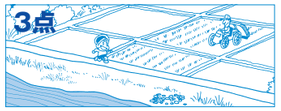
堰に魚道はありますか。

□ある　　□ない

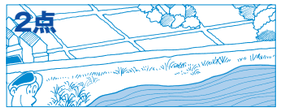
川のまわりは、どうでしたか？

●川のまわり　川をとりまく環境を見てみよう。堰のまわりの自然と人工物（建物や舗装道路、運動場やゴルフ場など）の割合に注目してみましょう。

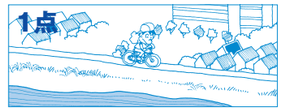
□川のまわりは自然物や農地ばかり。



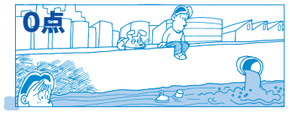
□人工物がまばら。



□人工物がほとんど。

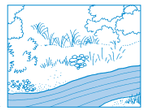


□家や工場が密集している。

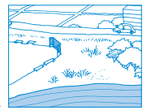


●土手と川の間　次は、土手より川側のようすです。土地の利用に注目してみましょう。

□河川敷には、人工物（整地された公園や舗装道路等）はほとんど見られない。



□河川敷は草はらが多く、林は少ない。人工物は少ない。



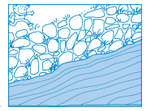
□河川敷は草はらと林と人工物が混ざっている。

□河川敷はほとんどが人工物。

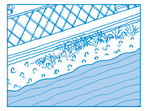
●水際と川底　水際のようすをみてみましょう。

□水際は自然のままである。

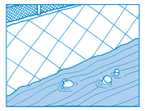
□水際に人の手がはいっているが、植物が生えている。



□水際はコンクリートで固められているが、川底は固めらていない。



□水際も川底もコンクリートで固められている。



●河口の干潟もしらべてくださる方（干潮時がベスト!潮見表を見て出かけてみよう。）

①河口に干潟はありますか	□ある	□ない		
②河口堰はありますか	□ある	□ない		
③干潟の大きさ	□川幅ぐらい	□川幅よりかなり大きい		
④干潟でどんな生きものが見られましたか	□ハゼ	□カニ	□鳥類	□その他

●以前の「自然しらべ」で同じ川をしらべましたか？　□はい　□いいえ

●自然しらべのことをどちらでお知りになりましたか？　□新聞・雑誌で　□インターネットで　□NACS-J会報で　□その他（具体的に　　）

●しらべてみた感想や、しらべた時の楽しい様子の写真なども送ってください。